



ふじもとともこ  
**藤本智子**

にほんきょうさんとうつしぎだん  
**日本共産党津市議団**

**熊本地震を教訓に防災対策のさらなる充実を**

**問** 地域防災計画で想定している最大14万7千人の避難者に対する備蓄の在り方、避難所におけるプライバシー確保、ペットを伴う避難への対応、車中泊への対応など、具体的な検討を進める必要があるのでは。また、自治会等による備蓄促進のための補助金額の引き上げ、防災訓練の促進、福祉避難所の拡充等、図るべきでは。さらに耐震補強工事促進のために手厚い対応を。

**答** 備蓄品については、東日本大震災や熊本地震の経験を踏まえ、真に必要なものを見極めながら整理していく。また、避難所運営マニュアルにより、プライバシー確保に努めるとともに、ペットや車中泊への対応については、避難所運営における新たな課題として今後検討していく。

自治会等への補助金は、実態を聞きながら増額も含め検討したいと考えており、訓練に関しては、他の地域の参考となるよう、先進事例を広報紙や学習会等で紹介するなどして取り組みを進め、福祉避難所は、今後、通所施設も協力願えないか働き掛けていきたいと考えている。

さらに、耐震補強工事の促進については、国等の対応を見極めつつ、耐震化の重要性・必要性もしっかりと啓発していく。

●その他の質疑・質問●

○子育てしやすい街づくりを進めるために認可園を増やして、希望する保育所に入所できるような対応を。小学校給食の自校方式の堅持、認定こども園と公立幼稚園統合の考え方について  
○太陽光発電の連絡先について  
○国保広域化における津市の姿勢を明確にし、法定外繰り入れの継続、情報公開の徹底と住民参加のしくみづくりを など



▲連絡先が分からない太陽光発電。連絡先表示のルール化を



ほりくちじゅんや  
**堀口順也**

こうめいとうぎいんだん  
**公明党議員団**

**読み書き（代読代筆）支援の講習会の開催を**

**問** 読み書き支援とは、高齢や障がい等が原因で、日常生活や学習・趣味の場などにおいて読み書きに不自由のある方に、読み書きのお手伝いをするを目的とする活動である。情報の80%以上は「視覚」からといわれ、視覚障がい者は、この視覚に障がいがあるために、社会生活を送る上で計り知れない困難を強いられている。市役所で読み書き支援基礎講習会の開催を。

**答** 現在、視覚障がい者への読み書き支援の形としては、障がい福祉サービスの中で、ヘルパーが訪問した際に簡単な文書の代読を行ったり、同行援護として、外出先で必要な視覚的情報の代読や代筆を行ったりして対応している状況であり、代読や代筆を専門的に行うような読み書き支援員の派遣制度はなく、また、読み書き支援員を養成する研修等も行っていない。

まずは、障害者差別解消法による職員対応要領の中で各窓口職員が障がい者の求めに応じた対応をきちんとしていく。

支援員の養成等については、先進地における取り組み状況等の情報収集を行い、研究していきたいと考えている。

●その他の質疑・質問●

○投票率向上に「共通投票所」の設置や期日前投票所の時間延長を  
○新電力の導入で経費削減を  
○津シティマラソンを、楽しさ（ファン、fun）を追求する、テーマ性のあるランニングイベント「ファンラン」に



▲三重大学とイオンタウン津城山店で期日前投票が可能に